



Shake Hands

The CLPA Times



Monday, December 17, 2001

**SCF/SEMICON
ISSUE**



SCF、SEMICON、盛況のうちに閉幕!

大きな反響を呼んだCLPAブース! ご来場者

10,000名を突破!

国内有数のFA関連展示会であるSCF2001〈システム コントロール フェア2001〉(11月13日~16日・東京ビッグサイト)、SEMICON Japan2001 (12月5日~7日・幕張メッセ) が相次いで開催された。

CC-Linkの普及活動を推進するために昨年11月に設立されたCC-Link協会<(略称CLPA (CC-Link Partner Association)、会長:関口隆氏(横浜国立大学名誉教授)>は、この両展示会に初出展。SEMIスタンダード取得、海外拠点の一斉開設、神奈川県産業技術総合研究所によるコンフォーマンステスト開始、CLPAパートナー数200メーカーの突破など、ニュース性にあふれる日本発のオープンフィールドネットワークCC-Linkと、CLPAの積極的な普及活動をアピールする絶好の場となった。

熱気につつまれたSCF/SEMICON! 数字で見るCLPAブース

次ページで詳細説明させていただく「Shake Hands展示」などの試みが功を奏して、両展示会でのCLPAブースは大きな反響を呼んだ。ここに、主な数字をまとめてみることにしよう。

アンケート回収総数7,500件

アンケート回答者にもれなく配布された「Shake Handsバッグ」も大好評(SCF2001のみ)。SCF2001では6,100件、SEMICON Japan2001では1,400件、合計7,500件と、両展示会を通じてCLPAブースにご来場いただいた大部分の方々の意見を伺うことができた展示会となった。この貴重な資料を基に分析されたマーケティング情報が、12月中にもCLPAパートナーに提供される予定だ。



CC-Link対応製品展示数104

実機展示からPCによるコンテンツ展示に移行させたことで、各パートナーのCC-Link対応製品紹介をより多く、より深く、来場者にアピール可能となった。



Shake Handsパネル掲示パートナー数25社

各パートナーに依頼した独自ブース掲示用Shake Handsパネルも、計25社のパートナーが協力。単独出展にとどまらないCLPAの連携力を広くアピールすることができた。(SCF2001のみ)



「Shake Hands」のもと、パートナーが一丸!

**際だっブースデザイン。
「Shake Hands」展示をはじめとした
新たなチャレンジが、この成功へ!**

SCF2001、SEMICON Japan2001の開催に先駆け、CLPAの統一コンセプトとして設定されたのが、「Shake Hands」だ。これは、「オープン&グローバルなCC-Linkにもっと、さまざまなデバイスがつながっていく!」ことを表すと同時に、「オープン&グローバルなCC-Linkを通じて、もっと、さまざまなメーカー、ベンダーがつながっていく!」という意志を表明したものだ。その象徴として、羽根をモチーフとした握手をデザイン化したマークも開発された。SCF2001、SEMICON Japan2001では、この「Shake Hands」のもとCLPAブースと各パートナーブースをリンクさせた「Shake Hands展示」が展開された。ここに、その概要を振り返ってみる。



**オープン&グローバルなイメージを追求した、
CLPAのブースデザイン。**

その洗練されたデザインで、他のブースを圧倒したのがCLPAブースだ。楕円をモチーフにし、円と円が合体したブースデザインは、グローバルなネットワークを象徴。また、ブースを覆うスケルトンのファブリックが、オープンなCC-Linkのイメージを助長するとともに、このファブリック上に、CC-LinkやCLPAのロゴがコンピュータ制御による照明演出で美しく映し出された。



**展示方式もコンテンツに一新。
CLPAブースと各パートナーブースを
連動させた「Shake Hands展示」!**

**CC-Link対応製品をPCで紹介!
CLPAブースから各パートナーブースへの
マップ配布も!**

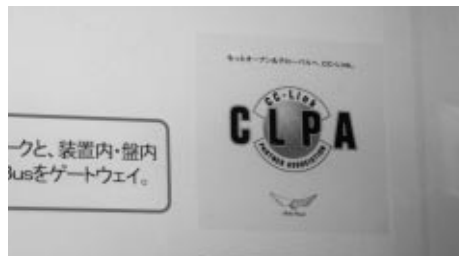
従来のクロス展示に代わる展示手法として両展示会で実施されたのがCLPAブースと各パートナーブースの連動感を深めた「Shake Hands展示」だ。まず展示内容・表現が、従来の実機・パネル中心からコンテンツ中心となった。その代表例が、ブースのオープンスペースに設置されたパソコンによる「コンテンツ展示」だ。来場者は、パソコンをクリックしな



がら、各パートナーのCC-Link対応製品の写真や説明を、つぎつぎに検索。さらに、この「Shake Hands展示」は、各パートナーブースでの「CLPAパートナーパネル」掲示やCLPAブースでの「Shake Handsマップ」配布などで、さらに徹底された。また、メインステージでのCLPA紹介やCC-Linkの技術説明も大画面ディスプレイでのコンテンツ展示に集約され、ナレーションとの連動で行われた。ちなみに、ここで作成されたコンテンツ内容は、今後、CLPAのWebやプロモーションCD作成などに活用していくという。

その他にも、多彩な「Shake Hands」演出が!

■CLPAパートナーパネル (SCF2001のみ)
各CLPAパートナーのブースには、このパネルが掲示された。



■パートナー一覧パネル
CLPAパートナー企業名を一覧で掲載!200社を超える連携パワーをアピール。



■Shake Hands MAP (SCF2001のみ)
会場内での動線を創造!CLPAブースからの各パートナーブースへの案内をサポート。



■Shake Hands バッグ (SCF2001のみ)
CC-Linkのロゴがクッキリ。予想を超えるアンケート回収をサポート!



■The CLPA Times
2001年のCC-Link、CLPAの鼓動を伝えた新聞形式パンフ。



待たれる、アンケート分析結果!

現在、CLPAでは、両展示会で回収した合計7,500件にも及ぶアンケートを集計・分析中で、この分析結果をもとに幹事会等で審議し、今後のCLPAの活動に反映していく。